vol.
4

児童福祉研究　第４号

いっしょに子育て

学校法人
和泉短期大学

目次 contents

Part 1

特集　健やかな育ちのために

1 使って育つ“身体の機能”
教授　井狩芳子 …… 3

2 親子の笑顔を大切に～体罰のない子育て
教授　鈴木敏彦 …… 13

Part 2

豊かな環境に触れる

3 **絵本は人生の羅針盤**
特任准教授 出村由利子 …… 23

4 **台湾の幼児教育・福祉を学ぶ旅**
准教授 久保小枝子 …… 29

5 **コラム　いずみのほとり**
子どもの欲求を満たす
准教授 児童福祉研究室室長 矢野由佳子 …… 37

6 **キャンパスだより**
助教 星 早織 …… 45

Part 1

特集

健やかな育ちのために

使って育つ“身体の機能”

教授
井狩芳子
Yoshiko Ikari

6月のとある日の夜、和泉短期大学にほど近い市立星が丘公民館で、相模原市中央区光が丘地区まちづくり会議安全部会の会合が開催されました。主な議案は、当地区の交通事故件数、特に子どもの交通事故減少への方策検討でした。当地区住宅街の道は歩道と車道の区別がない細い道が多く、子どもの飛び出し事故が多いとの報告があり、当部会の話し合いは、例年の如く、いかに子ども達に交通ルールを守ってもらうか（守ることを求めるのか）に主眼がおかれました。私は、議長より意見を求められたため、「保育者養成校の教員として、学生には、“子どもにとって、走行している車はハザードである”と伝えたうえで、心身ともに未熟な子どもに対し、その特性上、交通ルールの順守を求めることには、いささかの無理があること」をお伝えしました。

ヒトには外形上の成長のルールとして、生後20余年の歳月を経て成人になるという大雑把なルールがあります。一方、その成長の過程で、どのような経験を経たかによって、その後の育ちに差異が生じます。生活様式の変化が大きい昨今、生まれた直後から“（大人にとっての）便利用品に頼った生活を余儀なくされて育った子どもの身体は、今までとは異なる特徴をもった身体に育っているかもしれません。発達には一定のルールがあることを踏まえて、“使って育つ、身体の機能”という視点でお話を進めてみたいと思います。

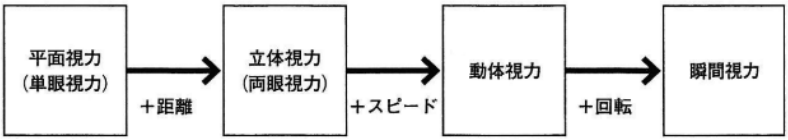
I. 五感の育ち　――特に、“視覚”を取り上げて――

❶ 五感とは何か

ヒトにとっての五感とは、“味覚・嗅覚・触覚・聴覚・視覚”を指し、いずれも使うことによって育つ機能です。その中でも、特に前者の3つの機能（味覚・嗅覚・触覚）は、誕生直後から動きだすことが可能な機能であり、赤ちゃんは授乳やオムツ替えを通して第一養育者（赤ちゃんを主に育ててくれる人）を認識していきます。つまり、赤ちゃんは、誕生と同時に、乳をもらいながら触覚や嗅覚を使う事で脳の活動が始まり、主要養育者の言葉がけやアイコンタクトによって聴覚や視覚の機能も徐々に動き出します。五感の始動は、言葉の獲得や概念形成獲得の土台になる力です。

❷ 発達のルール、獲得される力とは　――視力を例にして――

五感によって体得される力とは、体験した人だけが観える世界ができることです。そこで、“視力”を例にして説明をします。視力の発達のルールは図Iのとおりです。



＊視覚化能力（視覚情報以外の情報を基に、的確にイメージを思い描く力）は、その人の体験の有無に左右される。たとえば、動体視力が未熟な人は、そのイメージも未熟となる。

図I　視力の発達のプロセス

視覚とは、このルールにそって獲得される力です。他の五感の力と同様に、使うことにより育ち、一端育った其々の視力でも、しばらく使わないと退化し、また加齢によっても退化します。因みに、**瞬間視力**とは、パイロットや宇宙飛行士には必須の力であり、体操の内村航平選手は獲得している力ですが、多くの人は一生獲得しない稀な力です。

そして、身体の獲得済みのあらゆる力には、自分の獲得した力に応じて、“脳内再現能力（脳内イメージ能力）”も育ちます。つまり、「立体視力が獲得できた人は、脳内立体視力の再現可能」「動体視力が獲得できた人は、脳内動体視力の再現可能」「瞬間視力が…、脳内…」を意味しています。オリンピック級の選手は、一様に競技直前にイメージトレーニングをしますが、凡人とは違う脳機能を駆使して、リアルな修練を重ねていることが想像できます。聴覚にも味覚にも…、どの機能にも、“〇〇化能力☜**視覚の場合は“視覚化能力**”がありますので、何かを極めた人だけが達することができる、“脳内再現能力”を持つことになります。皆さんはどのような“〇〇化能力”を持っておられますでしょうか。

超人達のことはさておき、ヒトは誕生直後から、授乳中の第一養育者と眼を交わすことで**平面視力**を徐々に獲得します。

次に、手を伸ばしたところにある大人の眼鏡をいたずらしたり、ハイハイによる移動や、積み木遊びのような自分の手足や用具を使う遊び、そして戸外散歩の機会を通して近距離の景色や遠くの景色を観る経験を経て、距離の見積もりや形

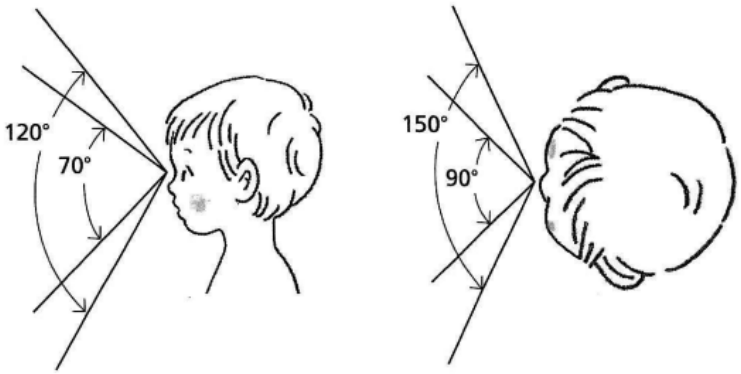
の認識を深め**立体視力**を獲得し、同時に空間認知力（自分の身体の大きさや形状の認識）も修得していきます。

続いて、子どもの眼でも追えるようなゆっくりと転がっていくボールを見ながら、同時にそのボールを足で追い、手で摑んだり、時には足で蹴ったりするという高度な動作（協応動作）を徐々に試す機会もふえてくると、少しずつ**動体視力**も育っていきます。

乳幼児期は、生きていくために不可欠である五感の土台が育つ最適な時期であり、それを引き出してくれる活動は、子ども自身が五感や身体機能を使って自ら活動する”あそび”です。

❸子どもの視覚の特徴と交通事故

子どもとは、“全ての機能が総じて未熟、背も低く体重も軽い、身体バランスが悪いため転びやすい。一方、知識が少ない分何にでも興味を示し好奇心旺盛で色々試してみたくなる、没頭しやすく飽きやすい存在”です。図2に、子どもの視覚の特徴を図示してみました。つまり、子どもの存在そのものが、事故に対してリスクの高い存在であり、この事実を認識すべきは私達大人なのです。さらに、交通事故に遭う割合は、女児よりも男児が多いとされており、その要因はいくつか考えられていますが、大人が子どもに対して注意喚起をする際は、声かけだけに留めず、身体全体のあちこちの機能に働きかける対策が不可欠です。



子ども：垂直方向約70度／水平方向約90度

大　人：垂直方向約120度／水平方向約150度

出典）池田裕恵・高野 陽編著『子どもの元気を育む保育内容研究』不昧堂出版、2009、p.112を基に作成

図2　子どもと大人の視界の比較

❹立体視力の育ちの保障

先に、立体視力の育ちのプロセスを示しました。一方、現代っ子の遊びの内容は激変し、日本では、この30年間、メディアを介した遊びが年々増加し、それにともなって“立体視力”が未熟なまま成人を迎える大人が一定数見受けられ、この状況はますます加速しています。私は、担当する授業の中で、毎年立体視力測定をしていますが、1/5～1/4の学生が立体視力不良群であり、この学生達の特徴として、ボール遊びをした時にボールを顔にあててしまったり、凹凸のない地面で転んでしまったりという特徴がみうけられます。

中央大学の稲垣具志准教授（交通工学）によると、小学生の交通事故の原因を探る研究の一環として、「近づいてくる

車（スピードと距離）への危険察知力検査（手元のボタンを押して回答）」を実施したところ、小学校1年生では全員が未獲得であったが、4年生になると、結果は“危険察知獲得群と未獲得群”にきれいに分かれたと報告されています。未獲得群の子どもは、自分の眼で車を見たうえで、“これなら、道を渡って大丈夫”と確信をもって道を渡り事故に遭うことがわかりました。この実験には保護者も立ち会ったとのことで、未獲得群の保護者からは悲鳴があがり、実験終了後に、我が子を叱責する保護者もいたと報告されています。稲垣准教授によれば、個々の子どもに対応する安全教育は、各家庭で保護者が、親子で街歩きをしながら実施することが望ましいとも述べています。スマホを含めたマスメディア使用は各家庭の判断で使用する昨今、保護者の責任として、我が子の命を守る為に、視力の育ちを意識的に担保する視点が必要な時代を迎えていることが示唆されました。

❺正視（せいし）の育ちの保障

さて、皆さんはここ数年、車内や街のあちこちで、スマホ育児をしている保護者をみかけることはありませんか。今、眼科医の中で杞憂されている乳幼児の眼の現象として“内斜視”があります。ヒトの眼は元々、一つの物を長く見続けることを得意としていません。さらに、乳幼児の眼は全体に未熟であるため、モニター画面を使った平面で刺激の多い画面を注視することは避けた方がよいと言われ続けてきました。そこに、大人にとって便利なスマートフォンが登場し、子育

て便利用品として使われ始めたわけです。スマホを使った時におきる“内斜視”の様子を図3に示しました。

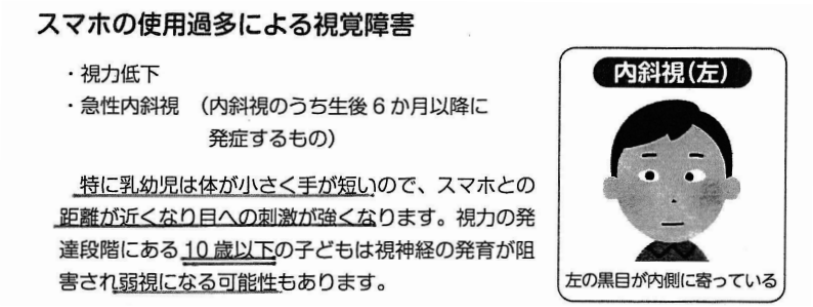


図3　スマホの使用過多による視覚障害（出典：日本保育保健協議会 保育と保健2020年3月）

以上のように、身体の発達には、発達すべき時期に発達を保障することが必要なルールが沢山あります。大人が創り出した便利社会によって、元来、ヒトの育ちに必要とされている、“五感の発達、協応動作の獲得、恒温獲得、生活リズム獲得、脳の育ちの保障（特に記憶野）”など、様々な育ちが阻害されかねません。私達大人が追い求めた便利用品の使用を中止することは困難な状況ですが、そのことに気付き、それを補うだけの知識と知恵を備えた保育者を養成すべく、引き続き養成校の教員としての使命を果たしていきたいと思います。

〈資料〉

・なぜ子どもは車道に飛び出すのか？／稲垣具志／コクリコGYRO__POHOTOGRAPHY/2021.02. 17
・保育内容健康／井狩芳子／萌文書林／ 2018.2.15

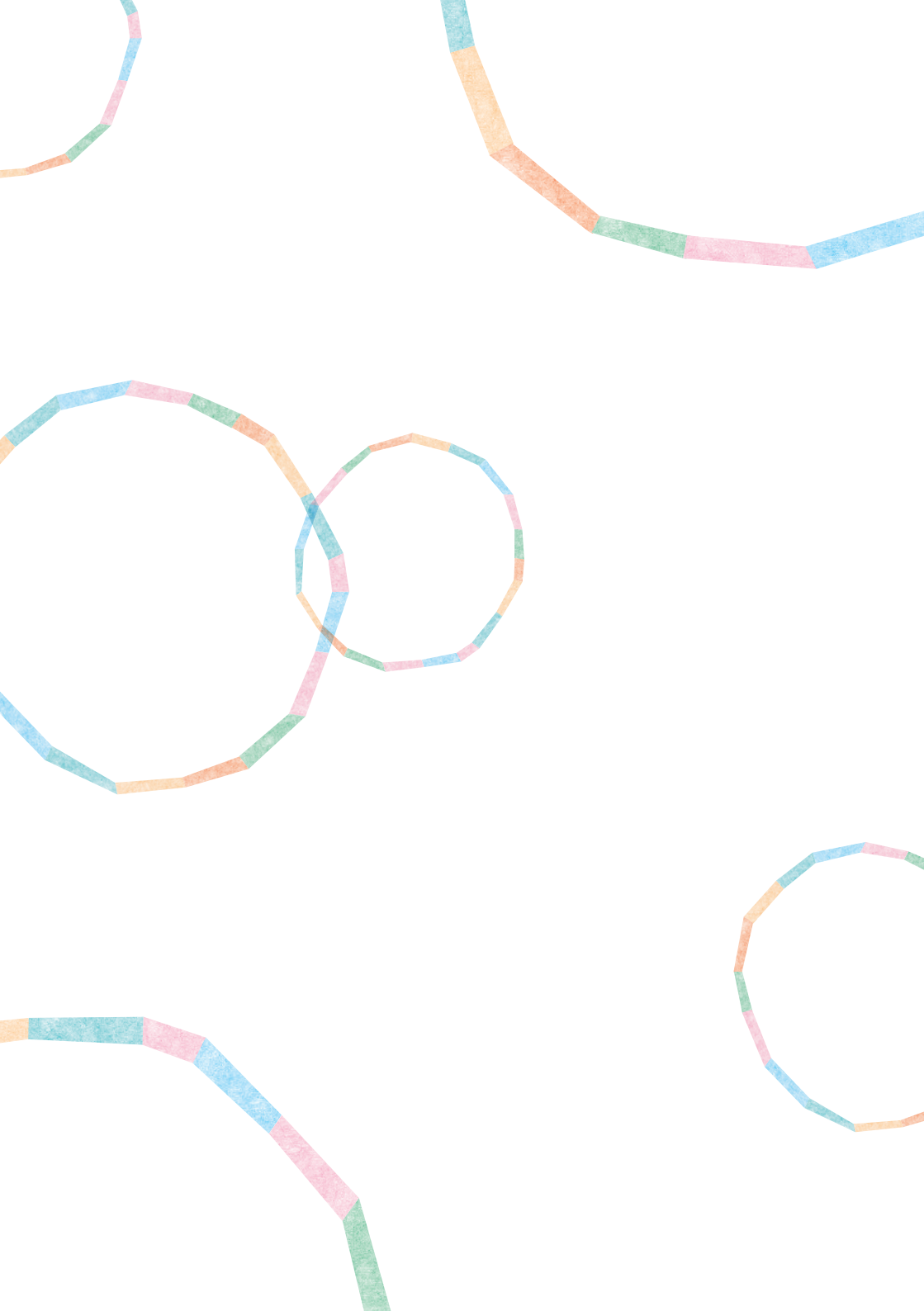
児童福祉学科　教授

井狩芳子

日本体育大学大学院体育学研究科健康学コース修了
東邦大学医学部第一生理学教室研究員
日本体育大学体育科学研究科博士後期課程　健康科学・スポーツ医科学系満期退学

専門分野　子どもの生活と健康、子どもの運動あそび
担当科目　保育内容「健康」、保育内容の総合的指導法「健康」、実習
経歴　青山学院女子短期大学　体育研究室　専任助手
和泉短期大学専任講師、助教授、准教授を経て教授
浦和大学（学部新設時教員審査）、東洋英和女学院大学、大妻女子大学で兼任講師
所属学会　日本体育学会（「発育発達領域」代議員（2015～2017年、2017～2019年）
日本小児保健学会（専門雑誌「小児保健研究」投稿論文査読委員　2010年～）
日本保育学会、日本学校保健学会、日本保育保健学会、他
主著　演習　保育内容「健康」単著　萌文書林　2018年
社会的活動　神奈川県相模原市男女共同参画課審議会委員／会長（2006～2016年）
神奈川県相模原市青少年問題協議会会長（2014年～）
神奈川県相模原市中央区区民会議会長（2014～2018年）他
幼少年体育指導士会設立理事（2016年～）
社会福祉法人　歩育の会　理事（2012年～）
NPO法人KIDS　理事（2019年～）　他

K.H.



親子の笑顔を大切に

～体罰のない子育て

教授
鈴木敏彦
Toshihiko Suzuki

ストレス社会と子どもへの暴力

現在、コロナ禍のなかで、多くの人々がストレスを抱えているようです。ある調査では、コロナ禍でストレスを感じている人は65.3%となっています。さらに詳しくみると、ストレスを感じている人の割合は、父親（子どもをもつ男性）61.4％、母親（子どもをもつ女性）73.8％であり、父親と母親に大きな差がみられました。こうした姿を、調査では「コロナ禍において、思うようにママ友と会えず、本来であれば子育て中の大きな助けとなる親同士の繋がりをもちにくい今の環境は、『お父さん』以上に、世の『お母さん』方の大きなストレスになっている現状が浮き彫りになりました」とまとめています※1。

お父さん・お母さんの抱えるストレスの多くは、健全に発散されていることでしょう。しかし、ストレスが、家族のなかで弱い存在である子どもに向いてしまうこともあります。普段であれば気にならない子どもの行動を「しつけ」のためとして、過度に咎めてしまったり、大きな声を上げて怒りをぶつけてしまうこともあるかもしれません。このような行為がエスカレートすることにより、子どもに対する「虐待」に結びつくケースも起こっています。

子ども・家庭に関する総合相談窓口である児童相談所での児童虐待相談対応件数（令和2年度、速報値）は20万5,029件にのぼり、前年度より1万1,249件（5.8％）増え、過去最多を

更新しました※2。時折、虐待によって子どもの尊い生命が奪われる事件が報じられますが、こうした痛ましい事件のなかには「しつけ」と称する暴力（体罰）が存在しているケースもあります。

K.H.

「しつけ」と「体罰」

「しつけ」という言葉にややネガティブな印象を抱く方もおられると思います。

まず、「しつけ（躾、仕付け）」という言葉の正確な意味をみてみましょう。辞書では「礼儀作法をその人の身につくように教え込むこと。また、その礼儀作法。」※3とされています。また、しつけとは「子どもの人格や才能等を伸ばし、社会において自律した生活を送れるようにすること等の目的から、子どもをサポートして社会性を育む行為」※4との説明もあります。つまり、しつけとは、子どもの豊かな成長にとって欠かせない大切な行為なのです。それにもかかわらず、なぜしつけが人々にネガティブな印象を与えてしまうのでしょうか。それは、しつけの方法として「体罰」があるからではないでしょうか。

さて、筆者は現在50代です。筆者の子ども時代の昭和の家庭では「愛の鞭」、学校では「鉄拳制裁」は特別なものではなかったように思われます。筆者自身も、親や学校の先生に

叩かれた経験があります。しかし子ども時代を思い起こしてみると、それが「しつけ」の一環だったのかもしれませんが、やはり嫌だったことが記憶に残っています。

令和の時代、しつけと体罰に関する意識はどのように変化したのでしょうか。子どもの支援に関する国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」の調査（2021年）では、子どもへのしつけのための体罰を何らかの場面で容認する者は41.3％（積極的にすべきである：0.9%、必要に応じてすべきである：7.8％、他に手段がないと思った時のみすべきである：32.6％）でした。さらに、性別では男性が、年代では子どもの年齢が比較的高い子育て世代の40代～50代が体罰を容認する割合が相対的に高いことが明らかとなっています。しつけのための体罰を容認する人は、2017年に同団体が行った調査では56.7％でしたので、15ポイント以上減少していますが、4割近い大人が体罰を容認しているのです。※5

体罰が子どもに与える影響

近年、体罰が子どもにさまざまな悪影響を与えることが明らかになってきました。その一つとして挙げられるものが、子どもの脳に対する悪影響です。脳科学研究の進展により、注目すべき調査結果が報告されています。

厳格な体罰（頬への平手打ちやベルト、杖などで尻をたたくなどの行為）を長期かつ継続的に受けた人たちの脳では、前頭前野の一部である右前頭前野内側部の容積が平均19.1パーセントも小さくなっていた。この領域は前頭前野の一部で、感情や思考をコントロールし、犯罪抑制力に関わっているところである。さらに集中力・意思決定・共感などに関わる右前帯状回も、16.9パーセントの容積減少がみられた。物事を認知する働きをもつ左前頭前野背外側部も14.5パーセント減少していた。

これらの部分が障害されると、うつ病の一つである感情障害や、非行を繰り返す素行障害などにつながると言われる。体罰と「しつけ」の境界は明確ではない。親は「しつけ」のつもりでも、ストレスが高じて過剰な体罰になってしまう、これが最近の虐待数の増加につながっているのではないかと思われる。※6

また、国の報告書によると「親から体罰を受けていた子どもは、全く受けていなかった子どもに比べ、『落ち着いて話を聞けない』、『約束を守れない』、『一つのことに集中できない』、『我慢ができない』、『感情をうまく表せない』、『集団で行動できない』という行動問題のリスクが高まり、また、体罰が頻繁に行われるほど、そのリスクはさらに高まる」といった調査結果が紹介されています。なお、体罰を受けて育った人についても、適切な支援等により回復等がみられることも報告されています。※7

体罰の全面禁止へ

体罰が子どもにとって大きな影響を及ぼすことが明らかになるなかで、2020年4月1日、改正児童虐待防止法施行により、家庭における体罰が全面的に禁止されました。体罰を法律で禁じる取組みは、1979年にスウェーデンで開始されて以来、全世界に広がっています。こうした流れを世界的に加速させたのは、子どもの人権擁護をうたう「子どもの権利条約」（国連、1990年発効、1994年日本での批准）の存在も大きかったと言えます。2021年現在、世界63カ国で体罰は法律によって明確に禁止されており、日本は59番目に位置づけられます。

国の報告書では、体罰や子どもの心を傷つける行為として、以下が挙げられています。※8

《体罰》

- 言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた
- 大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた
- 友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴った
- 他人のものを取ったので、お尻を叩いた
- 宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった
- 掃除をしないので、雑巾を顔に押しつけた

《子どもの心を傷つける行為》

- 冗談のつもりで、「お前なんか生まれてこなければよかった」など、子どもの存在を否定するようなことを言った
- やる気を出させるという口実で、きょうだいを引き合いにしてけなした

これまで、わが国では何をもって「体罰」とするかという点が明確ではありませんでした。このたび、上記のような具体例が示されたことは、体罰の禁止を進めていくために大切な取組みと言えます。

私たちの社会は「体罰容認社会」から「体罰禁止社会」へと大きく舵を切ることとなりました。これまで体罰を容認してきた社会が、法律が改正されただけですぐに変わることができるものではないでしょう。時間がかかるかもしれませんが、少しずつ、そして着実に子どもたちの笑顔を守っていきたいものです。まずは、「子どもの権利」や「体罰が及ぼす悪影響」等を社会の多くの人々に知ってもらうことが重要です。また、ストレス社会に生きるお父さん・お母さんへの支援も大切です。

子育ての大変さを、家庭だけで抱え込まないで

体罰のない子育てをするために、次のようなことを心がけてみませんか。※9

❶ 子育てに体罰や暴言を使わないと決意しましょう
❷ 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられません
❸ イライラをクールダウンできる方法を見つけておきましょう
❹ 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援しましょう
❺ 親自身がSOSを出しましょう

法律による体罰の全面禁止は、決してお父さん・お母さんを追い詰めたり、責めたりすることを目的とするものではあ

りません。お父さん・お母さんの笑顔こそが、子どもたちの笑顔の源です。しかし、お父さん・お母さんの笑顔が消えてしまいそうな時、子育てで大変さを感じた時には、SOSを出す勇気を持ってください。子育ての大変さを家庭だけで抱え込まないでください。一緒に子育てしていきましょう！

オレンジリボン運動（子ども虐待防止のシンボルマーク）啓発ポスター
学内にて撮影

［注］

※1　「健康に関するアンケート調査」明治安田生命保険相互会社、2021年
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2021/pdf/20210906_01.pdf

※2　「令和3年度全国児童福祉主管課長・児童相談所長会議資料」厚生労働省、2021年
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000198O1_00004.html

※3　デジタル大辞泉
https://www.weblio.jp/content/%E3%81%97%E3%81%A4%E3%81%91

※4　「体罰等によらない子育てのために～みんなで育児を支える社会に」厚生労働省体罰等によらない子育ての推進に関する検討会、2020年2月、p.5

※5　「子どもの体やこころを傷つける罰のない社会を目指して（子どもに対するしつけのための体罰等の意識・実態調査結果報告書）」公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、2021年3月

※6　友田明美「体罰や言葉での虐待が脳の発達に与える影響」、『心理学ワールド』第80号 、日本心理学会、2018年1月

※7　※4に同じ、p.9

※8　※4に同じ、pp.5-6

※9　「子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦」厚生労働省リーフレット、2017年を一部改変のうえ引用

児童福祉学科　教授

鈴木 敏彦

淑徳大学大学院　社会福祉学研究科社会福祉学専攻　修士課程修了　修士（社会福祉学）
英国 国立ブリストル大学大学院社会政策学院　(University of Bristol, School for Policy Studies) 研究生
東洋大学大学院　福祉社会システム研究科社会福祉学専攻　博士後期課程　満期退学

専門分野　社会福祉学（福祉サービス利用者の権利擁護：意思決定支援、虐待防止、合理的配慮 等）

担当科目　社会福祉、教育政策と社会（児童の権利）、保育実習指導・教育実習指導

経歴　介護福祉士養成校・保育士養成校教員を経て、1999年より和泉短期大学児童福祉学科教員。社会福祉士。

社会的活動　神奈川県障害者自立支援協議会会長
神奈川県意思決定支援専門アドバイザー
相模原市障害者施策推進協議会会長
社会福祉法人十愛療育会評議員
特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会監事
社会福祉士・精神保健福祉士国家試験委員
日本キリスト教社会福祉学会常任理事
日本社会福祉学会代議員　ほか

現在　担当する授業では「多様性の尊重」を大切にしています。現在、一人ひとりの個性を尊重する「共生社会」の実現が求められています。他者も自分も共に大切な存在であると認め合うためには、ときには自らの価値観（物事の見方）を問い直すことも必要です。学生の皆さんには、福祉の学びを通して、広い視野をもった保育者を目指してほしいと考えています。

Part 2

豊かな環境に触れる

絵本は人生の羅針盤

3

特任准教授
出村由利子
Yuriko Demura

先日のテレビで、「子どもはパンが好きなのでサンドイッチに、レンコンもフキも知らないのでウインナーに、お弁当箱の歌詞を変えました」と保育士が話しているのを聞き、驚きと同時に考えさせられました。今はわからなくても伝え続けることもあると思うのです。将来、子どもたちが困難を体験する時、私たちは手を差し伸べることはできないでしょう。私たちの手が届かない時に起こりうることにも責任をもつ、という未来の視点に気づかせてくれる一つに絵本があります。

子どもを静かなところにゆっくりと深々と誘い込むもの。そして、楽しく、面白く、美しく、何度でも聞きたくなるような語り手、それを絵本と呼びましょう。（瀬田貞二/絵本論）

絵本の役割の一つは人生の先行体験です。世界の民話は喪失から始まるといわれています。グリム童話の特徴は、「世の中、良い人もいるし、悪い人もいる」「世の中ってこんなもんですよ、だから、何があってもいいだけの準備をしておきなさい」という心の訓練です。親としては残酷な話は避けたいですね。でも子どもは抽象的レベル（心の中）で親に対する否定や反抗心を経験することが大切です。どんな親密な親子関係でも親に対する否定という通過儀礼を経ないと、大人として成長し、親との間に適切な距離をとって自立していくことは難しいのです。心の中で行わないと現実になってしまいますね。『人魚姫』で泡になって消えていく悲しい恋も、『泣いた赤鬼』の友とのつらい別れも先行体験です。

もう一つの役割は「ともにいる」という体験です。語る人と聞く人がともにいる、という人間的体験です。以前、保育士をめざす171人の学生にお気に入りの本は何か、聞いたことがあります。96冊の絵本を教えてくれました。『はらぺこあおむし』が14人、『ぐりとぐら』が11人同じ本でしたが、あとは皆違う本でした。大好きな人（母親、祖母、保育士の順）が読んでくれたから好きになったという理由がたくさんありました。

モーリス・センダックは「子どもは幼くてもおそれも悲しみも十分知っている」といっています。『かいじゅうたちのいるところ』がアメリカで出版されたとき、子どもが突然夜泣きをはじめたのはこの恐ろしい本のせいだ、と評価されませんでした。でも子どもは大好きです。どんな怖い話も信頼できる大人が同伴し、語られる言葉、時間、空間の中で「ともにゆれる」体験は、自分中心の世界から、やがて相手の気持ちに共感し、苦しむ誰かのそばにいることができる人へと成長させてくれるでしょう。

子どもの本は子どものための本ではなく、大人になってゆくために必要な本です。時を経て読み直すと、改めてその深淵な世界に感動することがあります。『おおきなかぶ』の挿絵を描いたのは彫刻家の佐藤忠良です。厳寒のシベリアでの抑留生活が絵に生かされています。エリック・カールは、色のない戦争体験から鮮やかな色の『はらぺこあおむし』を描きました。ナチスドイツの収容所の壁に、ガス室に送られる人々が再生の象徴として描いた蝶と何か関連があるのでしょうか。レオ・レオニの『スイミー』も、実は一人で泳いでいる場面が重要な部分だったと気づいたのも最近でした。

最後に少し絵本以外にふれてみます。日本各地にわらべ歌がありますが、遠野のわらべ歌の一つ、『ちょつちょつあわわ』をぐずる赤ちゃんに歌ったところ、ぴたっと泣き止みました。この歌には、いつまでも恥じらいを忘れず、口は災いのもと、よく聞き、世の中をよくみなさい、という人育ての知恵が込められています。楽しみながら人生で大切なことを伝える貴重な文化だと思います。

絵本も児童文学もわらべ歌も、未来へ語り継ぐ先人たちの知恵が込められています。つらいとき、子どもの背中を、生きてごらん、苦しくても生きてごらん、大丈夫だよと押してくれる、そして羅針盤や海図になるものにどうか出会えますように。

参考文献
1.かいじゅうたちのいるところ：モーリス・センダック作　じんぐうてるお訳　富山房
2.おおきなかぶ：A-トルストイ再話　内田莉莎子訳　佐藤忠良画　福音館書店
3.はらぺこあおむし：エリック・カール作　もりひさし訳　偕成社
4.スイミー：レオ・レオニ作　谷川俊太郎訳　好学社

専攻科　介護福祉専攻　特任准教授
出村由利子

札幌医科大学大学院看護学科地域精神看護学分野修了　看護学修士
小樽絵本・児童文学研究センター会員

経歴　札幌市内の病院で看護師として16年、看護教員／介護教員／幼児教育学科教員として北海道、神奈川県、コスタリカ国などで16年勤務。2020年より現職

担当科目　生活支援の基本、終末期の介護、人間の発達と老化、こころとからだのしくみ等

K.H.

台湾の幼児教育・福祉を学ぶ旅

4

准教授
久保小枝子
Saeko Kubo

和泉短期大学では、夏期休暇中に海外研修を行っております。2019年8月20日(火) ～ 25日(土)の5日間、学生11名と引率教員1名で台湾へ赴き、幼児教育と福祉について学ぶことができました。今回は、その学びの一端をご報告させて頂きます。はじめに研修スケジュールと台湾の特徴をご紹介します。

日程	スケジュール
1日目	【高雄】成田空港出発　夕刻到着　夜市の散策
2日目	【高雄】大学附設Ａ幼児園視察、キリスト教会附設Ｂ幼児園視察 龍虎塔見学、愛河などを観光
3日目	【九份】千と千尋の神隠しの舞台となったと言われる街　観光
4日目	【台北】Ｃ私立幼児園視察、Ｄ老人ホーム施設視察、台北観光
5日目	成田空港到着　解散

国の正式国名は、中華民国（台湾）です。面積は、日本の九州ほどの大きさと言われ約3万6000km²、人口は約2357万です。南国らしいゆったりとした雰囲気で何といっても人々の温かさが心に残りました。

次に、台湾の乳幼児教育を中心にした実情について触れておきたいと思います。共働き家庭が多く女性の就業率は年齢別にみると、20代は66.7%、30代は68.5%、40代では60.8%前後です。今後は、託児施設などの普及およびフレックスタイム制の拡大などにより、都市における女性の就業率はさらに上昇すると予想されています。また、近年、少子化が大きな社会問題となっています。台湾における出生率は急速に下

降し、世界で最も合計特殊出生率の低い地域の1つになっており、この現象が続けば人口構造に大きな変化が起こると考えられています。また一方で、高齢化も問題となっており、少子化と高齢化によって派生する様々な問題に国を挙げて早急に方法を講じて対処すべきであると考えているようです。

そのような社会背景の中、幼児期や老年期のクオリティ・オブ・ライフ（Quality of life）1人ひとりの人生の内容の質に注目し、どれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているかを考えて、動き出している様子が伺えました。その視点から、高雄にある大学付属のＡ幼児園と台北にあるＤ老人ホームについてお伝え致します。

高雄にある大学付属のＡ幼児園

私たちが到着すると、園の先生方と子どもたちがあたたかく迎えて下さいました。「子どもたちと自由に関わってくださいね」とお話を頂き、学生たちはそれぞれの場で台湾の子どもたちと遊びを通して、豊かな時間を過ごすことができました。子どもたちが、主体的に活動できるように考えられた保育環境は、目を見張るものがありまし

た。我が国の現行の「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」でも、「環境を通しての保育」という根幹の思想が大事にされていますが、この園を見学させて頂いた学生から「保育者の環境構成の意図と子どもの関係をあらためて考えさせられた」という感想が聞かれました。園長先生や保育者との対話の時間には、園長先生がお話しくださった「停・看・聴・等・陪・引」という言葉が最も心に残りました。この意味は「子どもをおとなの用事でストップさせる事なく、必要をよく看て、声を聴き、待って、ともない、社会に導いていく」という保育の考え方でした。子どもたちを愛し、大切にする保育者の生き方をここに見ることができました。

また、他の園でも、現在の台湾の幼児教育の様々な問題を抱える中、試行錯誤しながら、未来に生きる子どもたちのために努力なさっている保育者たちの姿が印象的でした。

台北にあるD老人ホーム

こちらの老人ホームはキリスト教の施設で、90歳、100歳のおじい様、おばあ様が元気に暮らしていました。皆さん日本語が大変お上手で、私たちに「日本から来たの？」と喜んで話し掛けて下さいました。私たちは、この施設を通して真の「Quality of life」を考えさせられました。老後も目標を持ち、自分らしく生き生きと生活をする大切さを知りました。

この施設では、1人ひとりの趣味が大切にされています。

おじい様、おばあ様は其々が持つ趣味がより面白くなるように物・人・事に主体的に関わっていきます。そして、関りが深まることによって、趣味の面白さはより増して、自身の興味関心はさらに高まるという好循環を生んでいました。ここで最も大切なことは、没頭することで「満たされる」感覚を得ることです。没頭して好きなことに取り組むことによって、おじい様、おばあ様は能動性を発揮して、自尊感情を高めていました。また、自分の特技を、講師役になり皆に伝えるというユニークな取り組みも行われていました。この様なプロセスを通して、他者との関わりや物との関りが深まり、結果として生きていく上で必要な「生きがい」を利用者皆さんが持っているように感じました。

そして、忘れてはならない台湾の文化に触れる時間もありました。日本でも空前の大ブームを引き起こしたタピオカ入りドリンク、マンゴーかき氷、飲茶など数々の台湾料理、

「千と千尋の神隠し」のモデルになったと言われる九份の街、夜市の散策など、それはそれは楽しいひと時となりました。

台湾の幼児教育・福祉を学ぶ旅は、台湾の多くの人のあたたかさと笑顔に包まれた心あたたまる旅となりました。今後も、隣国台湾の方々と幼児教育・福祉を通して、交流を深めていきたいと願っています。

児童福祉学科　准教授

久保小枝子

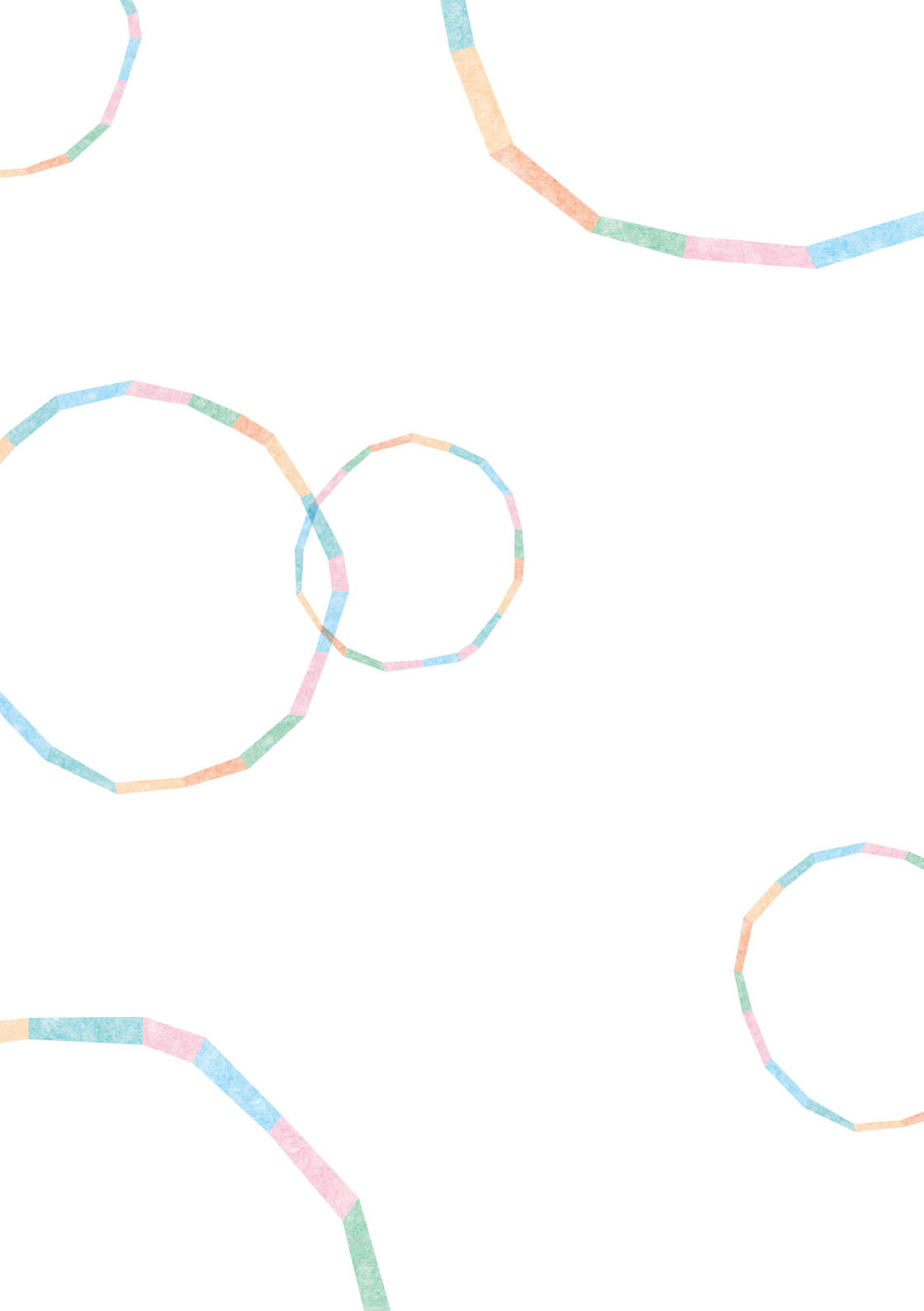
東洋英和女学院大学大学院　人間科学研究科人間科学専攻
修士課程修了　修士（人間科学）

専門分野　保育学・幼児教育学

担当科目　保育内容「言葉」、保育内容の総合的指導法「言葉」、キリスト教保育、
インターナショナルフィールド等
「子どもの声に耳を傾けること」と「目に見えない心の育ちを大切にしよう」と学生たちに伝えています。

経歴　学校法人臼井学園 ひなぎく幼稚園教諭8年
学校法人青山学院 青山学院幼稚園教諭18年
和泉短期大学児童福祉学科 専任講師 4年を経て現職

現在　和泉短期大学子育て支援プログラム「はっぴぃ」「すまいりぃ」のリーダーとして地域の子育て支援に関わっています。子どもの感性が豊かに育つ環境はどういうものか考え、その向上を願い活動に携わっています。



Column

いずみのほとり

子どもの欲求を満たす

5

准教授
児童福祉研究室室長
矢野由佳子
Yukako Yano

子育てや保育で、子どもがみんなと同じようにできないと思い悩むことがあるかもしれません。近年は子どもの主体性を尊重した保育へ移行しつつあり、保育現場ではみんなと同じようにできなくても、それを問題視するというより、その子の思いを尊重して関わりを工夫していることが多いと思います。

NPO法人「えじそんくらぶ」の代表である高山恵子先生は、子どもの理解において、子どもに何かを求める前にまず基本的欲求が満たされているか振り返ることを推奨しています。

基本的欲求とは何か、マズローという心理学者が提唱した「欲求階層説」をもとに解説します。マズローは、人間は自己実現に向かって成長し続けると考えました。自己実現とは、自分を更に高めたいと考える、とても高度な欲求です。しかしこの欲求が現れるためには、基本的欲求が満たされていることが必要と考えます。基本的欲求は4つあり、図に示したピラミッドの下から順に満たされると良いとされています。

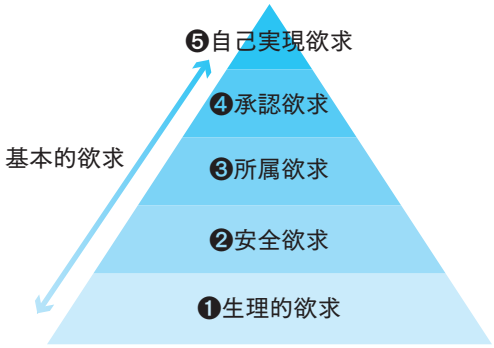


図1　欲求の階層

子ども達は、これらの基本的な欲求が日常的に満たされているでしょうか。日々の関わりから振り返ってみましょう。

❶ 生理的欲求：安心して食事や睡眠をとることができる

私たちの生活に食事や睡眠は欠かせません。災害などの非常時に食料品の買い占めが起こりパニックになるのは、飢えなどに対する恐怖心から取る行動と考えられます。子どもの生活に置き換えても同じです。しかし、子育ての悩みには、食事や睡眠に関わるものも多いと思います。大人になってから、これらの課題を抱えることもあります。「食べなければ」「眠らなければ」と思うほどプレッシャーになることもあるので、まずは食事や睡眠が苦痛にならない工夫から始めてみるのも一つの方法といえます。

❷ 安全欲求：家庭や園でおびえることなく、安心して過ごせる

身の安全を守ろうとする欲求は、生命維持に関わる重要なものです。コロナ禍においては、誰もがこの安全欲求を脅かされているともいえるでしょう。家庭や園で自分の居場所が脅かされ、否定される経験が続くことも、安全欲求が満たされない不安な状況といえます。例えば、「片づけないとおやつ抜きよ」といった罰と引き換えに望ましい行動を促す場面が時々あるかもしれません。これらは無意識で行っていることが多いので、「〇〇しないと△△ができない」という罰や

何かを取り上げることをちらつかせる声かけが多いなと思ったら、「片づけたらおやつ食べようね」と言い方を変えるだけで、安心できる声かけに変わることがあります。

❸ 所属欲求：

家庭や園を自分の居場所だと感じ、居心地が良いと思える

保育園などに新しく入園してきた子は、最初に自分のクラスや保育者の様子を伺い、ここは自分が安心できる場所かどうか、つまり生理的欲求や安全欲求が満たされる場所かどうかを確認します。環境の変化に敏感なお子さんだと、数か月かかることもあります。家庭や園が居場所だと実感できることは、子どもの安心感や自己肯定感につながります。そのためには、大人と子どもの信頼関係が重要です。とはいっても、毎日接していると子どもと良い関係を続けるのが難しいこともあるでしょう。100％ではなく、「ほどほどに」子どもを肯定し、認めることができていれば十分とされています。

K.H.

❹ 承認欲求：保護者や保育者に自分の存在が認められている

自分の居場所ができると、そこで認められたいという欲求が起こります。園に慣れてきた子が徐々に積極的になるのは、園を安全な場所と感じたからといえます。認められたいという気持ちの表し方が、大人から見て上手でないこともあるかもしれません。「こうしたら良いと思うよ」という前向きな助言やお手本、周りの様子を通して身につくこともあります。承認欲求は自分を信じる気持ち、自分を大切にする気持ちなどに通じます。

ここまでの基本的欲求が満たされることで、もっと良くなりたいという「自己実現欲求」を追求する段階に到達します。すべてが常に満たされている必要はありませんが、子どもとの関わりで何かうまくいかないと感じたときには、これらをふり返ってみると良いかもしれません。

❺ 自己実現欲求：もっと良い自分になりたい

もっと速く走れるようになりたい、友だちとより良い関係を築きたいといった、自分から進んで今の状況を良くしたいと思うことを自己実現欲求といいます。親や大人が子どもに願うことは、ここに当てはまるものが多いかもしれません。大人から要求するのではなく、子どもが自分からやってみた

K.H.

いと思う働きかけを工夫したいものです。日ごろから、子どもだけでなく私たちも基本的欲求が満たされているかどうか、自分を大切にできているかどうかを意識したいですね。

児童福祉研究『いっしょに子育て』第4号を手に取って下さり、ありがとうございます。コロナ禍の長期化により、子育て支援プログラム「はっぴい」「すまいりぃ」のお休みが続いていることを心苦しく思っています。1日も早く、キャンパスで親子と触れ合う日常が戻ってくることを学生と教職員一同願っています。

今後ともご意見やご感想をお寄せ頂けますようお願いするとともに、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

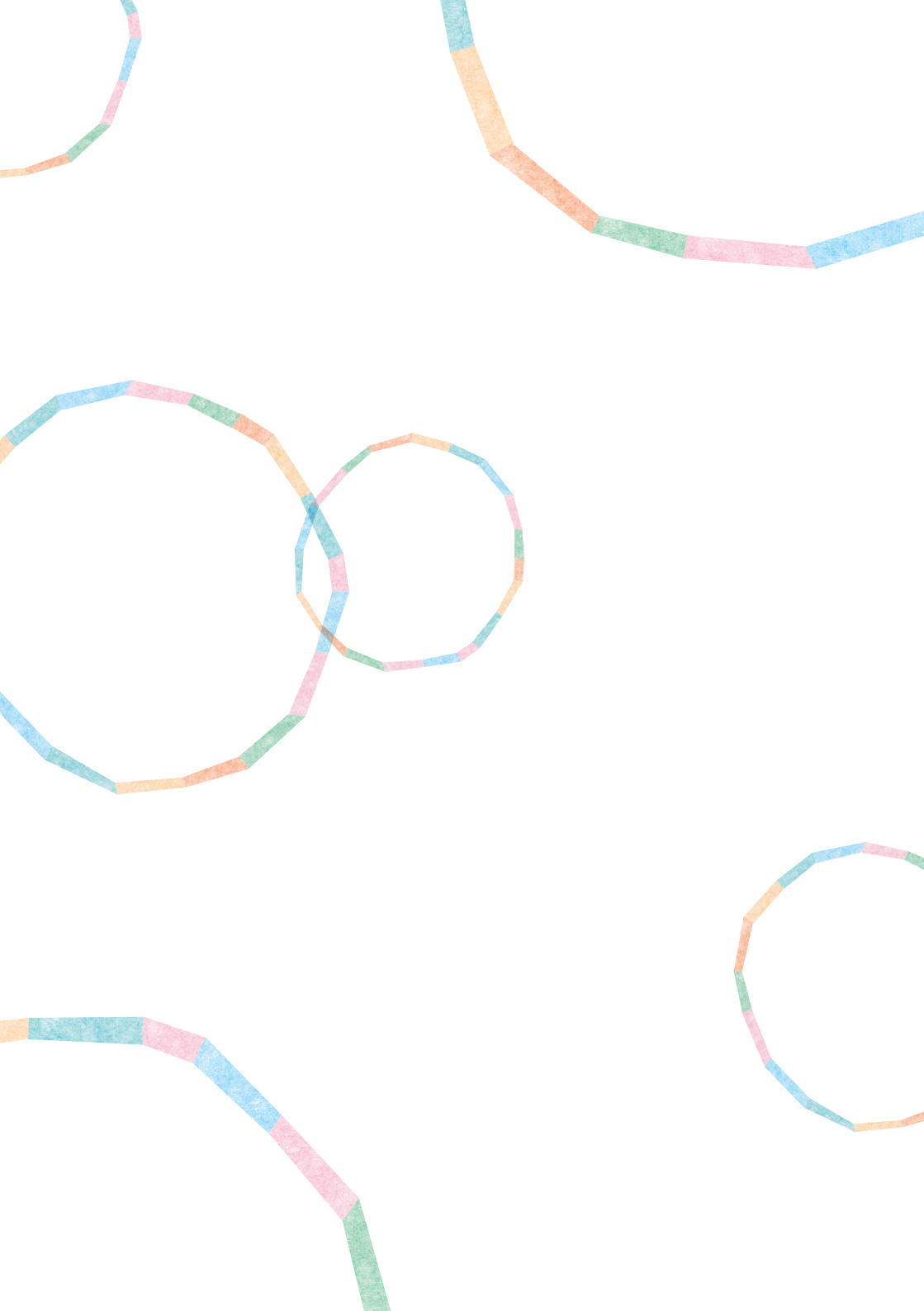
文献：高山恵子監修「育てにくい子に悩む保護者サポートブック」学研教育出版

児童福祉学科　准教授
矢野由佳子

お茶の水女子大学大学院　人間文化研究科　発達社会科学専攻
博士前期課程修了　修士（人文科学）
臨床心理士・公認心理師

専門分野　発達心理学・臨床心理学
担当科目　保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子ども理解と保育
経歴　お茶の水女子大学助手、東京成徳短期大学助手を経て現職。
現在　保育所で心理臨床に携わっています。保育者が心身ともに健康であることが大切だと考え、日々の授業でも、こころの健康について折に触れて話題にしています。

T. M.



キャンパスだより

6

助教
星 早織
Saori Hoshi

A

D

B

E

C

F

G

H

E

I

和泉短期大学
児童福祉学科・専攻科で学ぶ
学生の様子をお届けします。

A 教育実習（幼稚園）に向けて保育力支援者による特別授業が行われました。

B 保育環境について学ぶ授業にて、さつまいもの苗を植えました。

C 子どもの感染症対策について学んでいます。

D 赤ちゃん人形を使った演習授業の様子です。

E 分散開催にて卒業証書授与式、並びに入学式が無事行われました。

F 学生の主体的な学びを大切にした授業展開が行われています。

G いずみ祭に替わる秋季行事「オータムフェスティバル～実習・学びの収穫祭～」にて1・2年共同授業の一環として実習報告会が行われました。

H 専攻科学生が介護福祉士国家試験を受験し、全員合格することができました！

I 感染予防対策を行いながら教育活動を継続しています。

児童福祉学科　助教

星 早織

明星大学大学院　教育学研究科教育学専攻博士前期課程修了
修士（教育学）
幼稚園教諭、保育士、社会福祉士

担当科目　乳児保育Ⅰ・Ⅱ、子どもの健康と安全、実習指導等

経歴　公立保育所保育士を経て現職。
保育現場のリアルや自身の子育て経験を活かし、現場の声を後輩となる学生達に届けられるよう日々努めております。

H.H.

いっしょに子育て 第4号

2021年11月30日　初版第1刷発行

発行人　児童福祉研究 編集委員
矢野由佳子・星 早織・平塚 豊

発行所　学校法人 和泉短期大学
児童福祉研究室
〒252-5222
神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1
Tel: 042-754-1133　Fax: 042-753-2087
Email: ijccw@izumi-c.ac.jp
http://www.izumi-c.ac.jp

印刷　有限会社 青史堂印刷

©2021　IZUMI JUNIOUR COLLEGE
Printed in Japan

表 紙 絵 ：荒井万梨永（2018年度卒業生）
花 言 葉 ：黄色／ガーベラ「親子の愛」
紫／クレマチス「深い思いやり」
裏表紙絵：林田桂子

COLLEGE ZUM JUNIOR